

京極読書新聞 <第76号>

発行日 平成28年3月1日(火)
京極町生涯学習センター湧学館

今年の読書会は 4月スタート!



今年度「製本教室」も順調に進行中!



『針山和美作品集』と『石橋孝弘詩集』
を同時進行で作ります!



毎週、金曜日の夜に行われている湧学館の読書会。早いもので、今年で8年目に入ります。「平家物語」読書会は、現在、「巻十」を進行中です。『平家物語』は全十二巻の書物ですから、遠く向こうにゴールの影が見えてきたといったところでしょうか。

「後志の文学」講座の方は、今年度は「京極文芸館」と銘打ち、昭和42年から52年にかけて京極町で発行されていた同人誌『京極文芸』全15冊を1年間かけて読破する予定です。読書会の進行に伴い、読書会テキストとして全15冊の拡大復刻版を作製します。復刻した『京極文芸』は、随時、湧学館蔵書として登録しますので広くご利用ください。京極の懐かしい人たちが、いっぱい登場しますよ!

■「平家物語」読書会／講師：村山功一

平成28年度は4月1日(金)夜7時からスタート

日 時：毎月第1、3週の金曜日

19:00~20:00

*「巻十」からの合流になりますが、参加申込み
随時受付中です。

■後志の文学講座「京極文芸館」／講師：新谷保人

平成28年度は4月8日(金)夜7時からスタート

日 時：毎月第2週の金曜日(4月~12月の全8回)

19:00~20:00

定 員：10名

申込み：4月1日(金)~7日(木)まで

湧学館図書カウンターで受け付けています。

京極読書新聞 第77号は
4月1日発行予定です。





各学校より1年間を振り返って ～2015～



南京極小学校 土屋真由子(つちやまゆこ)

月1回、昼休みに行われる出前図書。出前図書が来る日の給食時間は、子どもたちは「今日は何の本かな～?」とわくわく顔。でも、子どもたちだけでなく、実は私たち教職員もかなり楽しみにしています。その理由は、子どもから大人まで楽しめる湧学館の方々の魅力あるブックトークです。優しい語りの中にも、「このお話の続きはどうなるの??」と余韻を残しての終わり方。出前図書の後には、紹介された本を私たち教職員含め、学校の17人全員で楽しんでいます。

さて、南京極小学校では、今年度から毎月「読書週間」を設定しました。その1週間は中休みと昼休みは、図書室で好きな本を読んで過ごしています。本を読むことは、自分が本の中に入り込み、主人公と同じ気持ちになったり、行ったこと

のない場所に行った気になれたり…と、豊かな想像力・感性を育んでくれると感じています。今後も子どもたちがたくさん本、様々なジャンルの本に出会うことのできる機会を増やしていきたいと考えています。

児童会の文化部では、季節に応じた掲示物作成、お気に入りの本の紹介など、「みんなが楽しく読書に取り組めるように」を目標に活動を進めています。中でも、力を入れているのが1人1人の読書カードの「読書ページ数」を集計し、高学年・低学年ごとにランキング発表をする活動です。読書の意欲付けにもつながったと感じています。

次年度も湧学館の方々と連携を取り、ご協力を得ながら、子どもたちが意欲的に学習や読書活動を進めていけるように努めていきたいと考えています。



京極小学校 出前図書館

- 6/24(水) 2年生 手島圭三郎さんの絵本 ほか
- 7/17(金) 6年生 最近はやりの本 ほか
- 10/ 7(水) 3年生 読書感想文に向けて ほか
- 11/13(金) 4年生 読書感想文に向けて ほか
- 12/ 2(水) 5年生 最近はやりの本 ほか
- 2/ 3(水) 1年生 絵本の読み聞かせ ほか



南京極小学校 出前図書館

- 5/21(木) 出前図書館過去6年のヒット本 ほか
- 6/18(木) 運動会の本、くまの本
- 7/ 9(木) ヒーローの本、数字の入った本
- 9/17(木) 小樽の本、秋が楽しみになる本
- 10/ 6(火) “ハロウィン”からのブックトーク
- 11/ 5(火) 火の本、本が登場するおはなし
- 12/ 3(木) 季節の絵本、お掃除の本
- 1/28(木) 文字のおはなし、猿の本
- 3/10(木) *予定

京極小学校 仲倉 里穂(なかくら りほ)

図書委員会主催のイベントや、ブックトークなど、今年度も京極小学校では図書に関する様々な取り組みをしてきました。

図書委員会では、図書新聞を発行したりイベントを開催したりしました。図書新聞では、新しい本を紹介し、各学年の冊数王も紹介しました。「こんなに借りる人がいるんだ!」という声が聞こえるとともに、「もっと借りてみようかな」と本を借りに来る児童が増えました。

図書委員会主催のイベントでは、どの棚にどのような種類の本があるのか周知してもらうために、図書室中の本にひらがなカードを隠し、集めると単語になるイベントを行いました。他にも、何が入っているかわからない、本のお楽しみ袋や図書室にある本にまつわるクイズ大会など、前後期合わせて様々なイベントを行いました。景品と

して折り紙を渡したことも良かったのか、イベントはどれも大成功。「イベントをしたことで、図書室に人が来るようになって良かった」という図書委員の声が印象的でした。

「この本面白そう!」と聞こえてくるのは、ブックトークです。湧学館の方が紹介してくれる本はどれも魅力的。「自由に見ていいですよ」の時間になると、目を輝かせて本を読んでいます。学級で読むために貸していただいたたくさんの本は、朝読書の人気本。面白い本がたくさんあり、私も読みたくなる本ばかりでした。

貸出システムが大幅に変わった今年度でした。湧学館のみなさんのサポートを受けながら、図書委員を中心に、楽しく活動することができました。これからも「本って楽しい!」を伝えられるように、努めていきたいと思えます。



京極中学校では、7月14日に出前図書館を実施しました。湧学館の本約300冊を入口のホールに広げ、学生委員の方の協力を得て貸出も行いました。昼休みと放課後の短い時間でしたが、多くの生徒が立ち寄って、本を手取る姿が見られました。勉強や部活に忙しい中学生のみなさんにも、気になる一冊に出会える機会を作っていければと思います。



『平家物語』 関係新着本紹介

<2016.1現在>

■謹訳・平家物語 (一)、(二)

(一)巻一～巻三所収、(二)巻四～巻六所収
(林望/祥伝社) 913.4キン



現代の名文家、林望氏による現代語訳。前著『謹訳・源氏物語』に続く謹訳”シリーズ第二弾。流れるような名調子と、硬軟入り交じった現代語訳は絶妙です。

■現代語訳・平家物語 (上)、(下)

(上)巻一～巻六所収、(下)巻七～灌頂巻所収
(尾崎士郎/岩波書店) B913.4ゲン



尾崎士郎といえば『人生劇場』。その文豪尾崎士郎訳『平家』。独自の“意識”による叙述は、まるで小説のようにワクワクしながら読み進められると思います。



■新潮日本古典集成—平家物語 (上)(中)(下)

(水原一校注/新潮社) 913.4ヘイ

「百二十句本」を底本とした注釈本。語注を頼りに原文を読むには最適。古語辞典片手に“自分の現代語訳”に挑戦してみてもどうでしょうか。さらに、「覚一本」を底本とした『平家物語・全注訳注』(杉本圭三郎著/講談社学術文庫/B913.4ヘイ)と、比較対照しながら読んでみるのも楽しいでしょう。なお、この本は余市町在住の川向龍太氏から寄贈されました。



■絵巻平家物語 一～九

〔一.忠盛/二.祇王/三.俊寛/四.文覚/五.清盛/
六.義仲/七.義経/八.忠度/九.知盛〕

(文・木下順二/ほるぷ出版) 児913キ

戯曲「夕鶴」で有名な劇作家木下順二による“列伝”風絵本。古典『平家』の展開に従い登場する主要な人物の生涯を描いています。木下氏は<あとがきに>で「(動乱の時代を)全力で生きた」人々の姿を描きたかったと述べています。どの人物の巻を読んでも、優しく温かい著者の眼差しを感じるのも、そのせいでしょう。瀬川康夫氏のほのぼのとした絵も、文とよくマッチしています。子供も大人も十分楽しめる作品です。

発行

京極町生涯学習センター湧学館
〒044-0101 京極町字京極158番地1
TEL 0136-42-2700(代表)
FAX 0136-42-2032
E-Mail yugakukan@town-kyogoku.jp



ホームページもご覧ください
<http://lib-kyogoku.jp>

